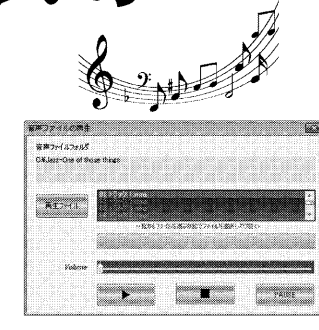


平成28年4月1日施行特許法等の一部を改正する法律適合

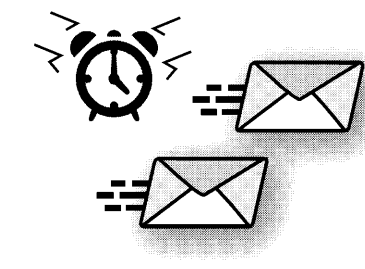


特許帳13は、これまでの特許管理ソフトウェアの概念を打ち破る製品で、インストールから運用までが、導入当日にも行える画期的製品です。しかも、機能は大型システムにも負けずとも劣らぬ充実ぶり、価格は¥16万5千円(事務所版、スタンドアロン2000件)からと、非常に低価格です。安売りソフトと言われることもありますが、機能の充実ぶりや操作性は秀逸です。この秘密は、30年近くに亘り、システムを着実に更新し続けて来た成果です。

サンプル請求(無料) : <http://www.patentsearch-japan.com>
ULT Research Co., Ltd. 東京都江東区東陽 5-30-13 東京原木会館



音声商標対応再生機能



期限お知らせメール



いつも新鮮! データの自動更新

人工知能により効率化・高度化される特許情報業務

目覚ましい発展をみせる人工知能(AI)技術への注目が高まっている。最近も、チェスや将棋に続き、囲碁でAIがプロ棋士を相手に3連勝して話題になった。特許情報サービス分野においても、2015年11月に開かれた特許情報フェア&コンファレンスにて、データ解析事業を手がけるUBICがAIによる特許情報・分析システムを発表。そして特許庁は16年度に、AIを活用した審査や分類付与、先行技術調査の実証実験を始める。AIを巡る新たな特許情報業務のあり方について考察する。

ランドナーP 日本事業統括部長 野崎 篤志



のぎき・あつし 慶大理工学研究科およびK.I.T.虎ノ門院ビジネスアソシエイト(工学修士・日総研)を修了。経営情報・IP研究を経て現職。

分類・翻訳など効率化 将来の技術予測ツールも

人工知能(Artificial Intelligence)という言葉は、1956年に米国で開催されたダートマス会議で人工知能の父と呼ばれるジョン・マッカーシーが提唱した。以来60年の研究開発の歴史があるが、最近のセンサー技術、ストレージ技術、ビッグデータ解析技術の進展を背景に人工知能技術の発展が著しい。

米IBMのスーパーコンピュータ「ディープブルー」がチェス世界チャンピオンのカスパロフを3月、米グーグル・ディープマインドが開発したコンピュータ囲碁プログラム「AlphaGo」に勝利したのが1996年。富士通研究所の伊藤英紀研究員が開発したコンピュータ将棋プログラム「ボノクラズ」が永世棋聖の称号を持つ米長邦雄氏に勝利したのが2012年。そして今年3月、米グーグル・ディープマインドが開発したコンピュータ囲碁プログラム「AlphaGo」がイ・セドル棋士に勝利したのは記憶に新しい。チェスや囲碁に限らず、IBMのコグニティブ・コンピューティング、永世棋聖の称号を持つ米長邦雄氏に勝利したのが2012年。そして今年3月、米グーグル・ディープマインドが開発したコンピュータ囲碁プログラム「AlphaGo」に勝利したのが1996年。富士通研究所の伊藤英紀研究員が開発したコンピュータ将棋プログラム「ボノクラズ」が永世棋聖の称号を持つ米長邦雄氏に勝利したのが2012年。そして今年3月、米グーグル・ディープマインドが開発したコンピュータ囲碁プログラム「AlphaGo」に勝利したのが1996年。

他社の立場から見た 自社の知的財産権の価値評価

小説からテレビドラマになった「下町ロケット」では、それまで会社内で「死蔵特許」とあるいは「お荷物」と思われていた特許が、他社からの高額の条件での譲渡の申し入れがあつて、初めてその価値が認知される場面がある。このようなドラマチックな場面だけでなく、第三者から自社特許の価値評価してもらえないような仕組みは作れないだろうか。現在、知的財産権の価値評価手法としてさまざまな手法があるが、第三者による価値評価の可能性を探ってみよう。



ほんま・けんいち 1984年愛媛自動車工業専門学校(現日産愛媛自動車大学校)卒業。自動車メーカーや特許事務所勤務を経て2015年にIP-FOCUS設立。

抑止力の実益を知る 相互評価のシステムを

特許権などの知的財産は、他社に対して抑止力となっており、競合製品の参入阻止を実現している。この抑止力を実証している。ここで、視点を改めて他社の知的財産権について見てみる。抑止力がある特許権は、他社に対して抑止力となる。抑止力がある特許権は、他社に対して抑止力となる。抑止力がある特許権は、他社に対して抑止力となる。

そんな日々の知財活動の中で、問題となりそうな特許権などが発見された場合、知財担当者は、その発見された特許権などを回避すべきか、また、対抗を行うべきかなどを判断する必要がある。裏を返せば、他社にそれだけの対応をさせた抑止力となっているという点であり、価値の高権利であるといえる。ただ、その事実はその特許権などを持っている権利者自身は知ることができない。

和知産権出版社 Intellectual Property Publishing House

事業内容
中国専利情報検索システム(CNIPR)
特許翻訳(マニュアル翻訳・機械翻訳)
中国特許調査(先行技術・侵害可能性・意匠)
中国特許法情報提供(知財裁判判例・覆審判決)
中国特許公報及び文献データ
特許年金納付代行サービス

中国知識産権出版社(IPPH)
Tel/Fax: 86-10-8200-0373
Email: jpcnqipr_service@cnqipr.com

IPPHの日本代理店はこちらでご質問やご購入等の相談を承りますのでお気軽に下記までご連絡ください。

株式会社プロパティ (PROPERTY Co., Ltd.)
Tel: 03-5324-3461 Fax: 03-5324-3464
Email: cnqipr@property.ne.jp (CNIPRサポート専用)
info@property.ne.jp (東京本社 / 大阪支社 / 大泉データセンタ)
info-china@property.ne.jp (北京 / 香港)

日本特許データサービス株式会社 (JPDS) 営業部
Tel: 03-3580-8021 Fax: 03-5512-7810
Email: tokyo-sales@jpdcs.co.jp (東京)
nagoya-sales@jpdcs.co.jp (名古屋)
osaka-sales@jpdcs.co.jp (大阪)
kyushu-sales@jpdcs.co.jp (九州)

使える 翻訳会社です

「特許分野」に精通したスタッフがプラスアルファをご提供します。

- 特許出願
- 商標関連
- 特許訴訟
- 技術文献
- 法廷書類

迅速な対応 ○ 的確な翻訳 ○ 機密の保持

知的財産に関する翻訳は権利取得の内容が的確であることが重要です。出願業務や技術内容に精通した専門翻訳者が法的、技術的に確実な翻訳文書をご提供いたします。

特許 特許分野に精通した 高度な翻訳!

高品質保証システム!
専門技術翻訳者、フルフリーター、ネイティブチェックカー3者による翻訳文書のチェック体制を確立。

コストパフォーマンス!
地方の強みを生かしたローコストを実現。首都圏、関西圏の翻訳料金に比べ10~20%低い設定。

さまざまな言語に対応!
英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・オランダ語・スペイン語・ポルトガル語・中国語(簡体・繁体)etc

海外ビジネスを強力サポート!
46年間にわたる豊富な経験を活かし国際基準で適用する文書を作成します。

信頼と実績!
迅速な納期設定と厳しい情報漏洩防止システムで管理。

株式会社 福山産業翻訳センター
〒720-0815 広島県福山市野上町2-16-3
TEL: (084) 921-2888(代) FAX: (084) 926-0065(受付専用)
e-mail: fukuyama@fitcen.co.jp

FITCEN www.fitcen.co.jp